



葉柄は赤い。



遠目にも葉柄が赤いのが見える。



樹皮は灰褐色。

区別のポイント

ヒメユズリハの葉はユズリハより小型で裏面に網状脈が見える。ユズリハは見えない。葉柄は赤い。山中で普通に見られる。

形態 常緑高木。

分布 本州（中南部以南）・四国・九州・沖縄

名前の由来 春に新葉が出ると前年の葉が落ちることから「譲葉」

葉 〈全体〉長楕円形、長さ 15 ～ 20 cm。

〈付き方〉互生で枝先に集まって付く。

〈葉柄〉4 ～ 4.5 cm、紅色。

〈基部〉広いくさび形。

〈葉先〉急鋭頭。

〈縁〉全縁。

備考 近縁種のヒメユズリハは、ユズリハよりも食べられている。嗜好性順位が高い調査結果があるが、好んで食べられておらず、ユズリハとともに嫌い植物に分類する。

出典 1